

(別紙)

表 3 - 3

脊髄修飾システム：ラットにおける髄腔内注射の効果*				
実験的疼痛状態 (動物モデル) †				
薬剤の種類	急性痛	痛覚過敏	アロディニア	神経損傷-痛覚過敏
	(ホットプレート、テールフリック)	(第2相ホルマリン 関節炎)	(髄腔内ストリキネネ Chung モデル)	(Bennett モデル)
アゴニスト				
μ/δオピオイド	++	++	+/0	++
α ₂	++	++	++	++
NPY	++	++	?	?
κオピオイド	++	++	0	±
ムスカリン性	++	++	?	?
アデノシン (A1)	+M	+	++	++
GABA-B	+M	+	++	+
アンタゴニスト				
NMDA	+M	++P	++	++
NK1	+M	++P	0	0
酵素阻害剤				
アセチルコリンエステラーゼ阻害剤	+++	?	?	?
NOS 阻害剤	+	++P	?	±
シクロオキシゲナーゼ阻害剤	0	++P	0	0

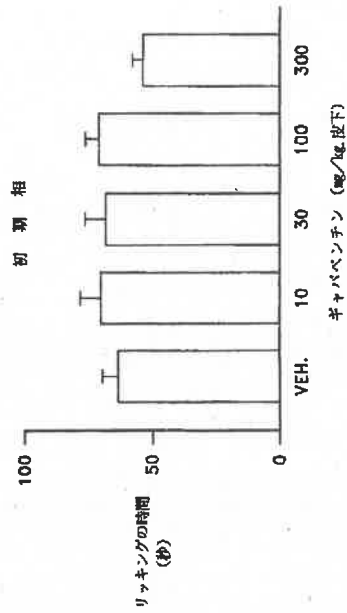
*+, ++, +++, +/0, ±, 0, ?, M, 運動; P, プラトー

†モデルの説明は本文を参照。

(データ元は参考文献 22、Yaksh and Malmberg, 1994 を参照)

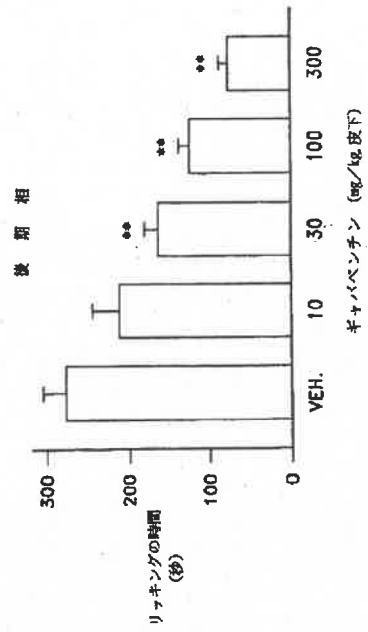
【図 1a】

FIG-1a ギャバベンチン



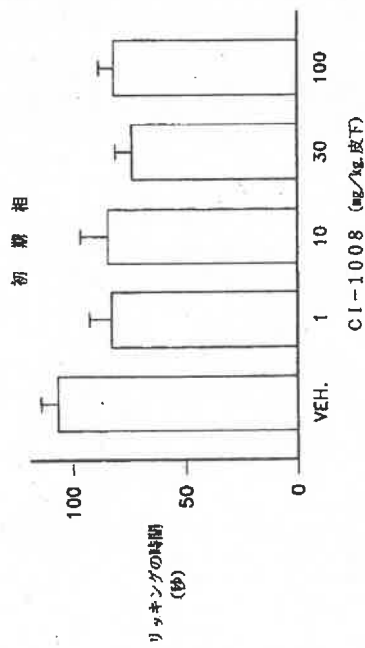
【図 1b】

FIG-1b ギャバベンチン



【図 1c】

FIG-1c CI-1008



【図 1d】

FIG-1d CI-1008

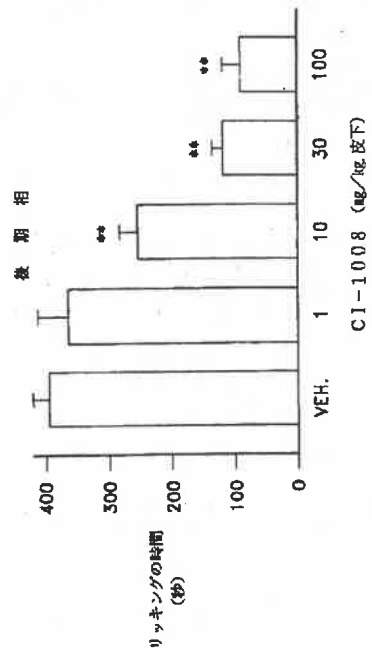
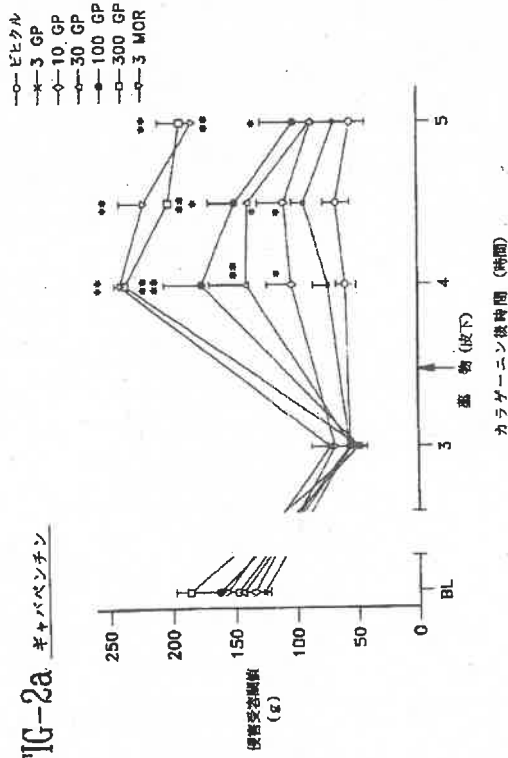
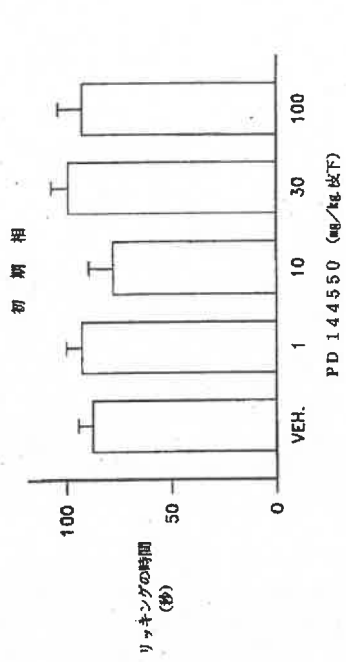


FIG-2a キヤバペンチン



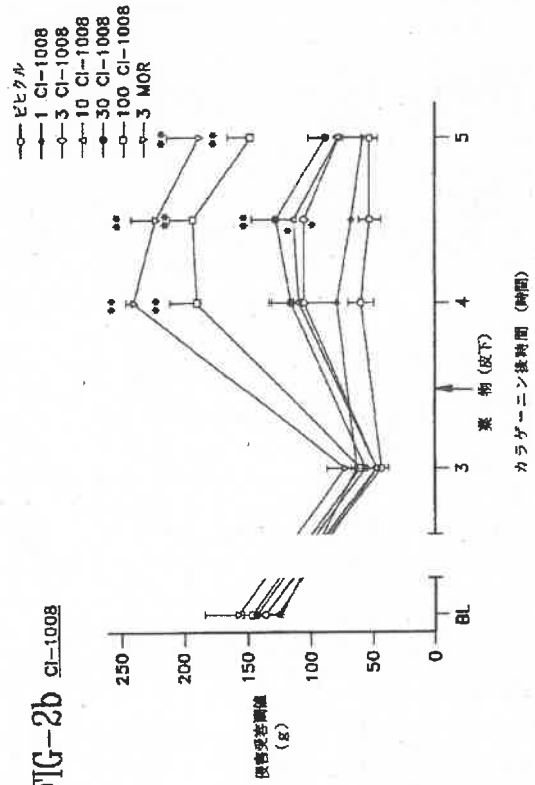
【図 2a】

FIG-1e PD 144550



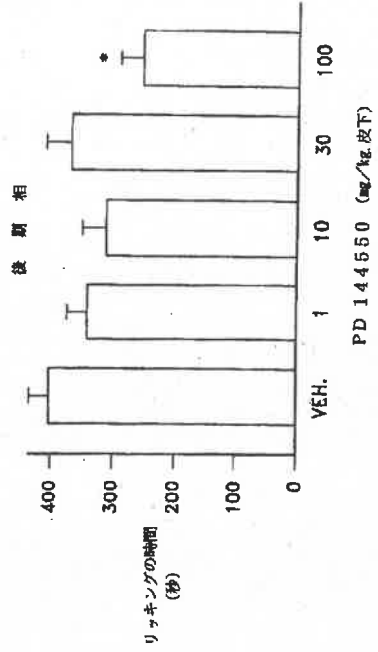
【図 1e】

FIG-2b CI-1008

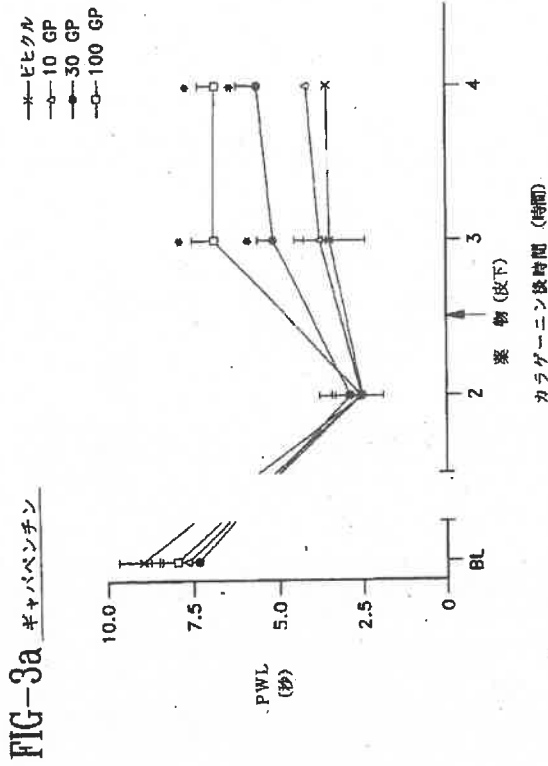


【図 2b】

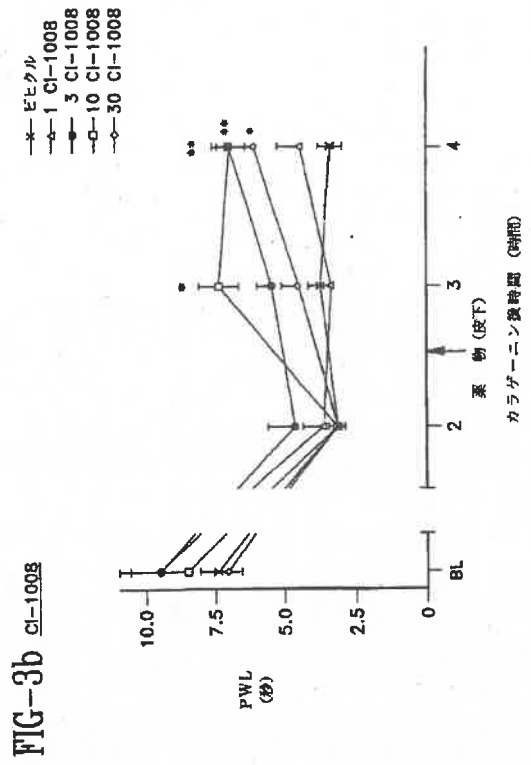
【図 1f】



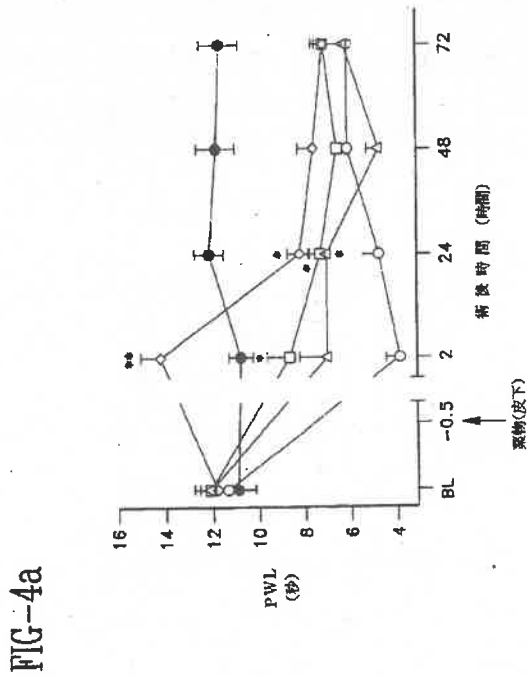
【図 3 a】



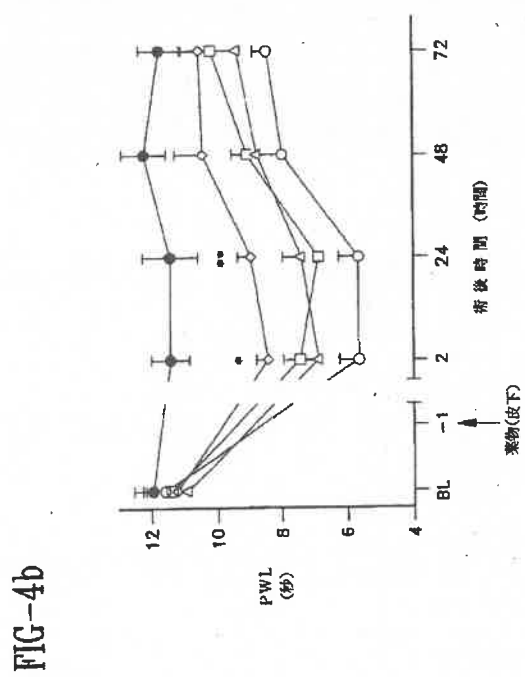
【図 3 b】



【図 4 a】



【図 4 b】



【図 4c】

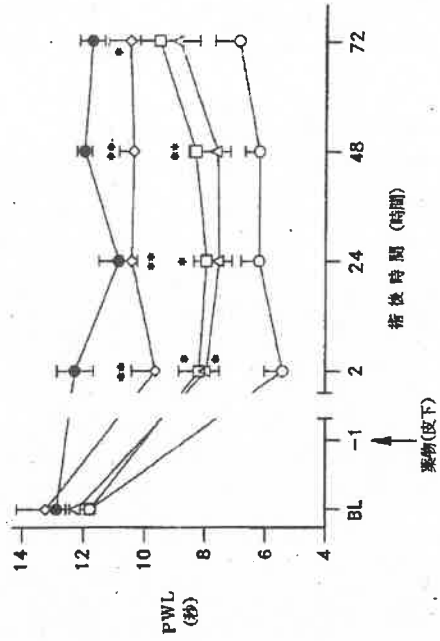


FIG-4c

【図 5a】

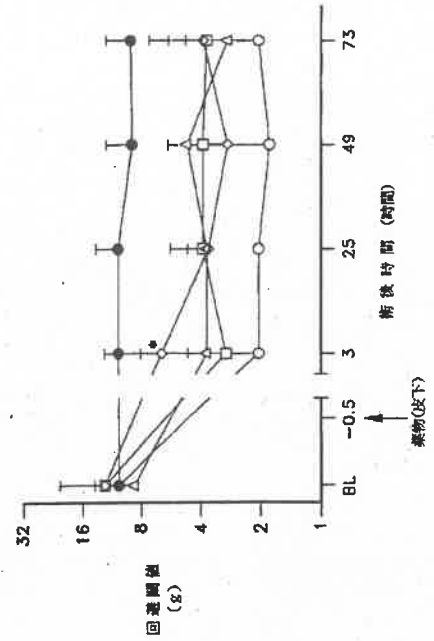


FIG-5a

【図 5b】

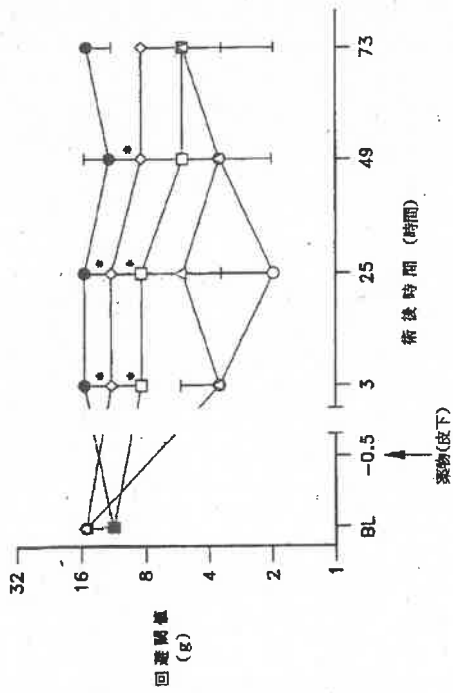


FIG-5b

【図 5c】

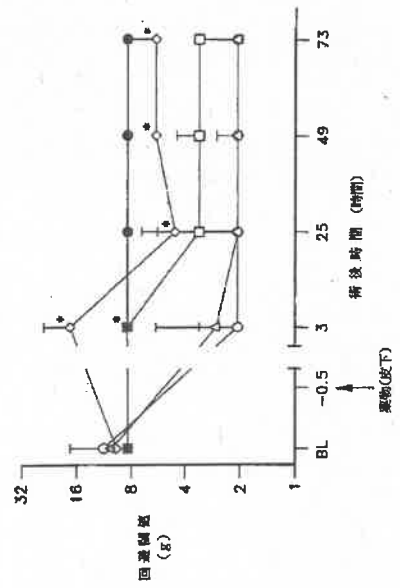
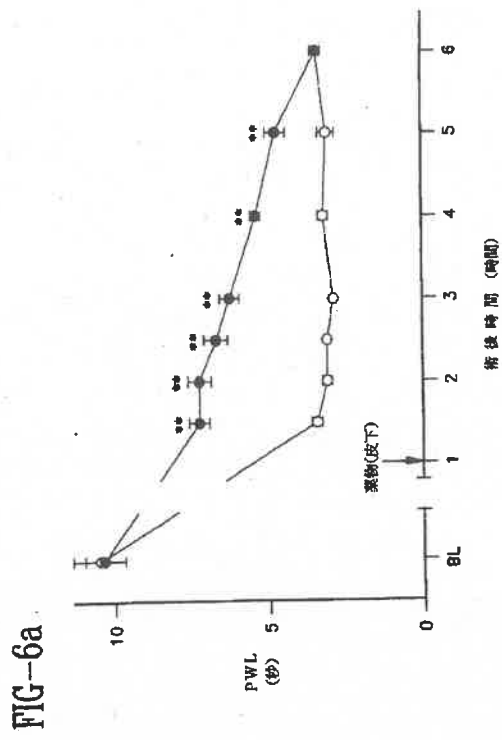


FIG-5c

【図 6a】



【図 6b】

